

生涯学習



市制 50 周年記念イベントとして開催
された「第 28 回 公民館まつり」の
様子 (2008 年 10 月 24～26 日)

社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会の行う社会教育行政に関する諮問機関として設けられた制度です。社会教育行政に広く各方面の良識と経験を反映させ、地域の社会教育・生涯学習活動が民間と行政の緊密な連携のもとに進められるために重要な役割を果たすものです。

社会教育法第15条では、社会教育委員の会の構成について、また17条では、社会教育委員の職務としての役割について規定をしています。

社会教育委員の職務は、教育長を経て教育委員会に助言をするための職務、教育委員会に対して直接行う助言的職務と、市町村の社会教育委員に限って本来の諮問機関としての職務の他に実践的な指導の職務があります。

社会教育委員は、学校教育及び社会教育・生涯学習の関係者並びに、学識経験者で構成されています。任期は2年、定数は15名以内と条例で定められています。

社会教育委員は、いろいろな答申や提言を行い社会教育・生涯学習の推進に努めています。その主なものは下表のとおりです。



社会教育委員の会議

社会教育委員の答申・提言の一覧表

答 申 ・ 提 言 名	答 申 日	内 容 (骨 子)
青少年施設の有機的連携と平日利用のあり方について —— 答 申 ——	1998.4.27	○ 大地沢青少年センター、ひなた村の現状と課題、子どもセンターのあり方。青少年施設の有機的連携（人的な連携、事業の連携、施設の連携）のあり方。
町田市における家庭・学校・地域の連携を強化する社会教育（青少年）行政のあり方について —— 提 言 ——	2000.3.29	○ 町田市の子どもたちの実態、子どもたちを取り巻く学校・家庭・地域の現況、青少年育成団体・青少年施設の現状と問題点、家庭・学校・地域の連携を強化するための検討事項「町田市子育て活性化緊急プラン」の提示。
町田らしい生涯学習推進（支援）計画策定に向けての重点施策について —— 答 申 ——	2002.4.22	○ 行政が生涯学習に取り組む必要性。町田市の生涯学習推進に必要な8つの方策を提示。 町田らしい生涯学習社会を構築するための具体的施策。
町田らしい生涯学習推進（支援）計画策定に向けての重点施策について —— 第二次答申 ——	2004.4.22	○ 町田市における学習機会の提供とその現状。地域の学習環境の見直し。それぞれの地域（住区）で特に必要とされる世代の生涯学習の内容とその仕組み。町田らしい「活躍する人が育つ」生涯学習社会を推進するための具体的施策。
町田の地域活動を活性化させるための生涯学習プログラム～学校の特別教室を利用した生涯学習クラブの設立～ —— 提 言 ——	2006.4.25	○ 子どもに関わる問題、高齢者に関わる問題、社会教育の課題、町田市固有の課題。市民の中に生まれた活動の具体例、活動事例からの示唆、町田の生涯学習の方向。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムを展開するための具体的施策。
子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について —— 提 言 ——	2008.2.7	○ 子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について、4つの施策を提言。
今後の生涯学習施策について —— 提 言 ——	2008.4.22	○ 組織改正にあたり、生涯学習と社会教育の捉え方、首長部局と教育委員会の協力、生涯学習推進を支える行政の役割の明確化、生涯学習に関するネットワークの構築、学校をめぐる市の施策の整理と方針の明確化、市民協働を推進する上で生涯学習が果たす役割について6つの項目を提言。

教育委員会では、市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。2007年度は次のとおり通年と前・後期に分けて講座を開催しました。今後は市民大学推進計画に基づき、市民の参加を拡大し、より多彩な学習機会の提供に努めていきます。

〈通 年〉

○ 多摩丘陵の自然入門

多摩丘陵の自然に親しみ、自然保護の実情を知っていただく講座です。

○ まちだの福祉

ボランティア活動を身近なものとして捉え、障がい者や高齢者とともに生きる地域づくりを考えるために、市内福祉施設での体験学習や、合同講義を通して町田の福祉を学びます。

〈前 期〉

○ 町田の環境・参加体験講座

「ここからはじめるボランティア」

地域におけるリサイクルや環境改善への取り組みについて体験を通して学びます。

○ 心と体の元氣学

健康な身体づくりのために基本的な知識や技法を学び、受講生どうし交流をはかります。

○ まちだ市民国際学「ラテンアメリカが問いかけるもの」

ラテンアメリカは、それぞれの国が独自性を持っていると同時に歴史、文化、政治経済、思想などにおいて、ひとつのまとまりある地域としても注目されています。魅力に溢れるものの馴染みの薄いラテンアメリカについて多角的に学びながら、この地域が現代の私たちに問いかけるものを探ります。

○ 町田の郷土史Ⅰ「縄文から幕末まで」

町田の歴史を学ぶための入門的講座です。縄文から幕末まで時代をおって学習します。

○ 環境にやさしい電動ロクロ入門講座

電動ロクロの初歩的な創作活動を、創作の喜びと楽しみを味わいながら体験します。学習に当た

っては、環境に配慮したリサイクル粘土を使用し、地球にやさしいやきものを目指します。

○ 環境にやさしい陶芸入門講座（前期分）

粘土との出会いをとおして陶芸芸術文化を味わいます。また、地球にやさしいやきもののリサイクルについても学びます。

○ 人間関係学「人間関係の多様性と向き合う」

かけがえのない個としてお互いを認め合い、自分らしい生き方をするために、ライフステージの様々な場面における人間関係について学びます。

〈後 期〉

○ まちだ市民環境講座「町田で学ぶ地域と地球の環境問題」

ごみ、水、みどりの保全、環境教育、温暖化。身の周りの環境問題から地球レベルの危機まで、町田市民のくらしを踏まえて学びます。

○ まちだ市民国際学「アジアの中の日本」

アジアの大国である中国やインドが急速な経済成長を遂げています。その中で私たちは、何処に位置し、今後何処に向かおうとしているのでしょうか？この講座は、アジアの中の日本がどのような立場にあるかを、いくつかの切り口から考えます。

○ 町田の郷土史Ⅱ「明治から現代まで」

町田市の歴史を学ぶための入門的な講座です。明治から現代まで時代をおって学習していきます。

○ 環境にやさしい陶芸入門講座（後期分）

粘土との出会いをとおして陶芸芸術文化を味わいます。また、地球にやさしいやきもののリサイクルや土器の野焼きを取り入れて学習します。

○ 人間科学「現代の『生老病死』と向きあう」

現代医療と人間にかかわる諸問題を科学的にとらえ、かけがえのない「いのち」について、人権と生命倫理の視点から学びます。

○ 心と体の元氣学

仲間作りを主とした講座。「阿波踊り」「ニュースポーツ（ネオテニス・キンボール）」などを行います。

生涯学習情報の提供、団体活動の援助

市内には学習・文化活動を行っている社会教育関係団体が数多くあります。また、近年では個人の生涯学習に対する関心も高まっています。そこで、教育委員会では、市民のみなさまにさまざまな生涯学習に関する情報をお届けするとともに、市民団体の自主的な生涯学習活動がより活発に展開されるよう、いろいろな制度を設けて援助を行っています。

(1) 情報提供・相談

① 情報コーナー

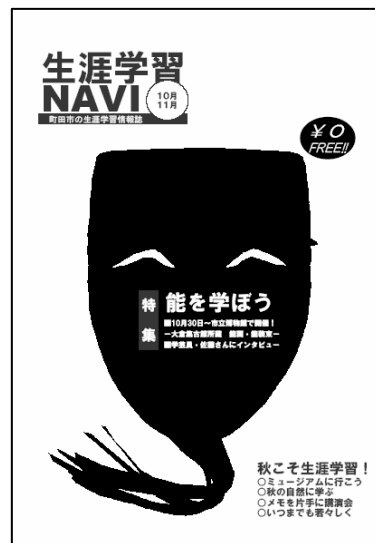
市役所森野分庁舎の1階に「情報コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物及び講座・催し物のチラシ・ポスターなどを掲示し、町田市内の情報に限らず、他の地域や学校等で催されるさまざまな生涯学習行事の情報が閲覧できるようになっています。



情報コーナー

② 生涯学習NAVI

生涯学習課では市民の生涯学習に役立てていただけるよう、町田市の生涯学習情報誌「生涯学習NAVI」を発行し、無料で配布しています。市民に知っていただきたい生涯学習の事業を特集するとともに、市内や近隣の地域で催される成人向けの講座及びイベント等を紹介しています。



生涯学習NAVI

また、市民のみなさまの生涯学習に関する各種の相談も職員が随時受け付けております。

(2) 補助金・講師派遣

① 社会教育関係団体事業費補助金

市民を対象に行う発表会・講演会、青少年健全育成に関する事業など、社会教育の振興を促進させると認められる事業を行う社会教育関係団体に対し、講師の謝礼、会場の借上料及び印刷費等の事業にかかる経費の一部を援助しています。

② 社会教育関係団体講師派遣制度

学習・文化活動を行うことを目的として活動する市内の団体が、会員以外にも広く参加を呼びかけ、講師を招いて実施する学習会・講演会に対し、その講師の謝礼を援助しています。

町田市の公民館は、昭和25年に原町田公会堂を譲り受け、町田町公民館として利用されるようになったのが始まりです。その後昭和53年（1978年）に建て替えを行い、町田市公民館となりました。しかし、市民のニーズに充分応えるには手狭になったため、原町田六丁目市街地再開発事業で建設する商業ビル内に新公民館をつくることになり、1998年に利用者・地元住民・学識経験者等で構成する公民館移転建設検討委員会が組織され、2000年9月に実施計画が報告されました。2002年6月に竣工、2002年10月に『まちだ中央公民館』としてオープンしました。

公民館では、さまざまな事業を行っており、またグループ活動や集会などへの会場提供などをおとして、市民の文化・学習活動の機会提供に努めています。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田6-8-1
- 電話 728・0071
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての内、6階～8階
- 延床面積 2,676.84㎡

(2) 施設内容

- ホール 定員158名
- ホール控室 定員10名2室
- 学習室 定員30名1室 定員21名1室
定員18名1室 定員15名2室 定員12名2室
- 調理実習室 定員37名
- 美術工芸室 定員30名
- 視聴覚室 定員36名
- プレイルーム 定員18名
- 音楽室 定員24名1室 定員18名1室
- 和室 定員45名1室 定員24名1室
- 保育室 定員20名1室

(3) 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第2・4月曜日（祝日、振替休日にあたるときは、その翌日）、12月28日～翌年1月4日
- 利用方法
原則として、どなたでも自由に利用することができます。

ただし、公民館の利用目的外（社会教育法第20条）の場合は、ホール、諸活動室、附属施設は有料、その他は無料で利用できます。

(4) 各種講座等の開催

公民館では講座、講演会、コンサート等を開催しています。講座・講演会の一部は、公民館から出向き、地域でも開催しています。また、市民企画による講座・学級、公民館まつりなど、さまざまな事業を実施しています。

① 講座型

講座型の事業では、市民講座や文学講座、家庭教育、女性セミナー、男性学セミナー、市内の大学・民間企業との共催などを実施しています。

市民講座や文学講座は、今日的課題や趣味・教養に関する内容などで実施しています。

家庭教育学級は、子どもを持つ親を対象に実施しています。乳幼児・小中学生の2つのコースがあり、それぞれ今日的課題について学んでいます。

女性セミナー、男性学セミナーは、男女平等参画社会の実現という視点から、教育・家族・社会問題など全般にわたるテーマでおこなわれています。

② 講演会等

身近な問題を中心に、だれもが気軽に参加できるような内容で単発の講演会やコンサートを実施しています。また、青少年を対象に夏休み子どもフェアや春休み子どもひろばなども行っています。

③ 市民企画型

市民が企画する事業として、市民企画講座と自主男女共生学級があります。

市民企画講座は、市内各地域での住民による

主体的な講座開催を目的とし、市民5人以上で組織する運営委員会が公民館職員と協力して企画、運営、実施するものです。生活の改善や住みやすい街づくりにつながり、公民館周辺以外の施設で実施予定の企画を優先的に採り上げます。

自主男女共生学級は、変動する社会のなかで、継続的かつ集団での学習をとおして、ジェンダー（社会的文化的につくりあげられた性別）を超えて、男女平等参画型社会の実現を目指しています。10～20名で集まり、学級内容を決めて、自主的に運営していくもので、講師謝礼と保育を公費で行っています。

④ 公民館まつり

公民館を利用している多くの団体、サークルが日頃の成果を発表し、交流する場として、1981年から毎年行っています。



公民館まつり

(5) ことぶき大学

ことぶき大学のはじまりは、1966年に開催された高齢者の学級です。対象は60歳以上の方で、内容は、日本経済の動向、長寿の秘けつ、芸術鑑賞、老後の生活設計、高齢者の健康管理などでした。その後、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度の改正を行い、現在にいたっています。歴史・文学等10コースを実施し、“楽しく学んで豊かに生きる”をモットーに約1,000名以上の方が、学習や交流に楽しい時を過ごしています。

(6) 障がい者青年学級

1974年、障がいのある青年20名の参加で開

設された障がい者青年学級は、現在、170名を超える青年が参加し、5月～3月まで月2回の日曜日に公民館とひかり療育園を会場に、さらに1997年度に町田第二小学校で始まった土曜学級が現在では月2回の土曜日に公民館を会場に活動を行っています。この青年学級は、障がい者の教育保障の視点から開設しているもので、“生きる力、働く力”の獲得を目標に学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。

(7) 町田市公民館運営審議会

公民館運営審議会は、学校関係者（1名）、学識経験者（3名）、公募の市民（11名）からなる15名の委員で構成されています。毎月定例会を開催し、館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき、調査、審議を行っています。2004年1月には「障がい者青年学級の将来的あり方について」の答申を作成した他、公民館利用者懇談会などに積極的に関わっています。

2007 年度 公民館事業一覧

形態	対象	事業名	開催月	回数	形態	対象	事業名	開催月	回数
講座 一般型	一般	市民講座 ・「第九を歌おう」 ・地域の歴史シリーズ 旧南村の歴史を知ろう Vol.3 旧堺村の歴史を知ろう Vol.4 旧町田地区の歴史を知ろうVol.5(市制50周年記念事業) ・男の料理入門講座 ・1年半後、あなたが裁判員!? ・パソコン・インターネット時代の著作権 ・ファンタジー講座 家庭教育学級 ・乳幼児を持つ親のための講座 ・小学生を持つ親のための講座 ・中学生を持つ親のための講座 共催事業 ・はつらつアクティブエイジ講座(高齢者福祉課共催事業) ・インドネシア更紗を知ろうその伝統と今(市立博物館) ・地震!!その時どうする?(防災課) ・はつらつアクティブエイジ講座(高齢者福祉課) 東京女学館大学・まちだ公民館との共催による講座 ①「庭の民族と古代文学」 ②「歴史にみる日本庭園の表現」 ③「ヨーロッパにおける庭園の発達」	6~12	15	市民 企画 画 型	一般	市民企画講座 ●障害のある人たちと一緒に活動してみませんか? ●日本国憲法は時代遅れか ●「市民力」養成講座 ●アート アレ コレ ●ヨーガ 古代インドから学ぶ 自主男女共生学級 ●学級(学習)活動 (13学級、各学級で月1~2回、テーマに沿っての学習) ●開級記念講演会 ・「トランスジェンダー」性同一性障害と向き合う ・学校生活の中でつくられる男らしさ、女らしさ ・70年代歌謡曲に描かれた男性像、女性像 ●研修企画 ・市民協働の学びを考える ・よくわかる憲法の話 ・つながり・育ち合いを求めて ●開級式(3回とも研修会のテーマから一つを選んでグループ討議) ・1回目 ・2回目 ・3回目	1~2 1~2 1~2 1~2 2~3 6~3	5 5 4 4 4
		親と子の交流ひろば ・とことこ① ・とことこ② ・とことこ③ ・きしゃポップ	6 8 11 4~3	3 3 3 42			①町田の歴史コース・・・町田の歴史を知ろう ②文学コース・・・芭蕉句に分け入る ③歴史コース・・・信玄と謙信一その実像を追う ④美術コース・・・仏教伝来の道 ⑤音楽コース・・・オペラを楽しむ ⑥地域史コース・・・多摩の天領と代官 ⑦くらしコース・・・豊かな生活設計 ⑧健康コース・・・東洋医学入門 ⑨鎌倉散歩コース・・・鎌倉散歩 ⑩軽体操コース(前期)・・・自分の体を知ろう ⑪軽体操コース(後期)・・・自分の体を知ろう	6~10 6~10 6~11 6~10 6~10 6~10 6~9 6~10 6~11 6~7 9~10	6 6 6 6 6 6 6 6 7 6 6
		・サタデーコンサート VOL.34 諸星真美子ハープリサイタル VOL.35 まちだフレッシュコンサート VOL.36 戸村千品ソプラノリサイタル VOL.37 柳田直子チェロリサイタル VOL.38 新春の調べ ・サタデーライブ5 和太鼓集団「鼓太郎」 (夏休み子どもフェア・平和祈念事業) ・「被爆体験談と紙芝居」とすいとん試食体験 ・「平和を考える童話」DVD上映会 ・戦時資料展 ・「紙工作で原爆ドームをつくろう」とすいとん試食体験 ・「原爆と人間展」(パネル展) ・夏休み子どもコンサート(青い鳥をさがして) ・地震!!その時どうする?防災展(防災課) ・昭和薬科大学・まちだ中央公民館との共催 ・博物館・まちだ中央公民館との共催事業 能と風土一町田を舞台とした謡曲「横山」 謡曲「横山」の舞台一小野路を散歩しよう ・春休み子どもフェスティバル 劇団歌舞人講演「アラジンと魔法のランプ」	4 5 7 12 1 7	1 1 1 1 1 1			●開級式 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●学級活動 ①公民館学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(公民館) ②ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(ひかり療育園) ③土曜学級 原則として第2・4土曜日に月2回実施(公民館) ●合宿 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●成果発表会 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●担当者会議 ●担当者調整会議 ●ニュース作り ●青年学級を語る会 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●スポーツ大会(東京都) ●スポーツ大会(町田市) ●学級活動総括 ●公民館まつり参加(年1回)	6 6 6 6~3 6~3 6~3 9 10 11 2 3 3 4~3 4~3 4~3 4 4 4 5 11 3 10	1 1 1 15 13 15 2 1 1 1 42 0 16 1 1 2 1 1 2 1
		・映像で見る町田市のあゆみ(市制50周年記念事業) ・三菱生命科学研究所・教育委員会・公民館共催事業 アルツハイマー病の恐怖 三菱生命科学研究所見学会 三菱生命科学研究所見学会	2 9 8 12	10 1 1 1			第27回公民館まつり (10月19・20・21日) 実行委員会 展示 発表 模擬店 公民館だより(発行6回/編集会議12回) 編集委員:市民公募3名・公運審2名 印刷機講習会(年8回)	5~10 10 10 10 4~3 4~3 5~12	4 3日 3日 3日 12 8
		地域市民講座 ●お互いに支えあえる仲間づくりで心豊かな学校生活を送ろう ●子どもたちの健やかな成長を願って ●あなたの居場所ありますか? ●住み慣れた地域で快適に生きるために・・・	9~10 10~12 11~12 11~12	7 7 6 5					
講座 一般型	一般	・サタデーコンサート VOL.34 諸星真美子ハープリサイタル VOL.35 まちだフレッシュコンサート VOL.36 戸村千品ソプラノリサイタル VOL.37 柳田直子チェロリサイタル VOL.38 新春の調べ ・サタデーライブ5 和太鼓集団「鼓太郎」 (夏休み子どもフェア・平和祈念事業) ・「被爆体験談と紙芝居」とすいとん試食体験 ・「平和を考える童話」DVD上映会 ・戦時資料展 ・「紙工作で原爆ドームをつくろう」とすいとん試食体験 ・「原爆と人間展」(パネル展) ・夏休み子どもコンサート(青い鳥をさがして) ・地震!!その時どうする?防災展(防災課) ・昭和薬科大学・まちだ中央公民館との共催 ・博物館・まちだ中央公民館との共催事業 能と風土一町田を舞台とした謡曲「横山」 謡曲「横山」の舞台一小野路を散歩しよう ・春休み子どもフェスティバル 劇団歌舞人講演「アラジンと魔法のランプ」	4 5 7 12 1 7	1 1 1 1 1 1	高 齢 者 大 学	高 齢 者	●開級式 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●学級活動 ①公民館学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(公民館) ②ひかり学級 原則として第1・3日曜日に月2回実施(ひかり療育園) ③土曜学級 原則として第2・4土曜日に月2回実施(公民館) ●合宿 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●成果発表会 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●担当者会議 ●担当者調整会議 ●ニュース作り ●青年学級を語る会 公民館学級 ひかり学級 土曜学級 ●スポーツ大会(東京都) ●スポーツ大会(町田市) ●学級活動総括 ●公民館まつり参加(年1回)	6 6 6 6~10 6~10 6~10 6~9 6~10 6~11 6~7 9~10	6 6 6 6 6 6 6 6 7 6 6
		・映像で見る町田市のあゆみ(市制50周年記念事業) ・三菱生命科学研究所・教育委員会・公民館共催事業 アルツハイマー病の恐怖 三菱生命科学研究所見学会 三菱生命科学研究所見学会	2 9 8 12	10 1 1 1			第27回公民館まつり (10月19・20・21日) 実行委員会 展示 発表 模擬店 公民館だより(発行6回/編集会議12回) 編集委員:市民公募3名・公運審2名 印刷機講習会(年8回)	5~10 10 10 10 4~3 4~3 5~12	4 3日 3日 3日 12 8
		地域市民講座 ●お互いに支えあえる仲間づくりで心豊かな学校生活を送ろう ●子どもたちの健やかな成長を願って ●あなたの居場所ありますか? ●住み慣れた地域で快適に生きるために・・・	9~10 10~12 11~12 11~12	7 7 6 5					

市立図書館の前身は、1953年ごろ町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、プレハブ建てながらも個人貸出しの図書館としてスタートしました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月よりはじめ、1972年5月には建て替えにより新装オープンしています。また、1972年2月に「鶴川分館」（1977年10月に現在地に移転）、1974年6月に「金森分館」（2000年7月に現在地に移転）、1976年7月に「木曽山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1980年代後半から新しい図書館の建設を望む声が高まってきました。これを受け1990年11月に中央図書館が開館、CD、ビデオなどの貸出や館内視聴といった新しいサービスが始まりました。貸出返却をコンピュータで行う市内の中心的図書館の誕生です。これに伴って「町田市立図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年の7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完成しています。

1998年12月、隣接する相模原市との間に相互利用協定が結ばれ、町田市民の方も相模原市の図書館が利用できるようになりました。その後1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

そして、インターネットの普及に対応するため、2004年4月よりホームページ上での蔵書の公開とリクエスト受付を実施、同時に電子メールによる利用者への連絡サービスも行っています。

また、2005年10月からは、従来の火・金曜日に加え、水曜日についても開館時間の延長を実施し、より使いやすい図書館を目指しています。

2007年10月には、隣接する八王子市との間に相互利用協定が結ばれ、町田市民の方も八王子市の図書館が利用できるようになりました。



児童コーナーは子どもたちで大にぎわい

(1) 館内・貸出しサービス

① 館内閲覧

利用者が自由に図書を選ぶよう開架式書架としています。中央図書館、さるびあ図書館、金森図書館、堺図書館では文献の複写サービスも行っています。

② 館外貸出し

市内にお住まいの方、市内の会社、市内の学校へ通っている方に、さらに1998年12月からは相模原市にお住まいの方にも図書等の館外貸出しを行っています。

町田市立図書館一覧

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	728・8220	1990.11.30	5,262.00 m ²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	722・3768	1972. 5.22	1,234.32 m ²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	735・5691	1972. 2.15	259.75 m ²
金森図書館	金森 1021	710・1717	1974. 6. 3	1,494.56 m ²
木曽山崎図書館	山崎町 2160	793・6767	1976. 7.15	320.60 m ²
堺図書館	相原町 795-1	774・2131	1983. 9.25	429.00 m ²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	739・3420	2006.10.27	2,156.27 m ²

登録後は1人10冊まで2週間、中央図書館では、DVD、CD、カセットテープ、ビデオテープは合わせて3点まで1週間の貸出しとなります。

③ リクエスト制度

求める図書が見当たらないときは、リクエストをすることができます。リクエストを受けた図書が貸出し中の場合は、返却後、受付順に貸出しています（リクエストの取り置きは、ご用意ができてから10日間）。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入したり、他の図書館から借り入れたりして、なるべく早く貸出しができるようにしています。

開館時間と休館日

館 名	開 館 時 間	
中 央 図 書 館	火・水・金	午前10時～午後8時
	木・土・日 祝休日	午前10時～午後5時
さるびあ・鶴川 ・金森・木曾山崎 ・堺 図 書 館	火・水・金	午前10時～午後6時
	木・土・日 祝休日	午前10時～午後5時
町田市民文学館	火～日 祝休日	午前10時～午後5時
休館日	・毎週月曜日(祝休日の場合は開館) ・毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館) ・特別館内整理期間 ・年末年始	

ただし、相模原市在住者は、リクエストできません。

④ 団体貸出し

地域文庫や読書会等を対象に図書の団体貸出しを行っています。2007年度には178団体、19,782冊を貸出しています。

(2) その他のサービス

① レファレンス・サービス

調べたいこと、知りたいこと、読みたい本のことなどできる限りの相談に応じています。

② ハンディキャップ・サービス

目の不自由な方に録音図書・点字図書の貸出、製作や対面朗読を行っています。2007年度は3,343タイトルを貸し出し、480回の対面朗読を行いました。また、来館が困難な方には資料を自宅へ宅配するサービスも行っています。設備としては各館に車いすで利用でき



中央図書館のCDビデオコーナー

2007年度 町田市立図書館統計書

2008年3月31日現在

区分 図書館名	蔵 書 数					有効登録者数 一般・児童計	団体登録数	利 用 者 数		移動図書館 巡回数	開館日数
	一般図書	児童図書	図書合計	うち 開架	AV 合計			利用者数計	(内移動図書館)		
中 央	475,720	65,262	540,982	301,540	45,365	121,405	178	558,564			295
さるびあ	77,830	47,763	125,593	118,525	7			128,738	(20,032)	990	297
鶴 川	30,403	21,215	51,618	41,345	8			122,179			297
金 森	87,517	40,427	127,944	112,079	11			211,004			297
木曾山崎	42,142	24,090	66,232	60,352	30			104,253			297
堺	48,324	27,806	76,130	64,926	16			54,938	(10,286)	529	286
文学館	10,678	1,171	11,849	9,923	0			2,448			297
合 計	772,614	227,734	1,000,348	708,690	45,437	121,405	178	1,182,124	(30,318)	1,519	2,066
前年度	748,419	230,247	978,666		45,403	125,415	188	1,198,936	(29,689)	1,505	1,887

るトイレやスロープ等があります。

③ 集会行事

講演会、映画会、おはなし会を実施しています。



移動図書館車

④ 児童サービス

2008年3月末現在で、6館の所蔵は98万冊を超えています。そのうちの約23%が児童図書です。各館とも児童コーナーの充実に努めており、いつも子どもたちでにぎわっています。このほか、図書館では、おはなし会、子ども映画会などの行事も行っています。

⑤ 広報活動

図書館報、新刊案内・行事案内など定期的に発行しています。

⑥ 移動図書館車の巡回

市民が身近に図書館を利用できるよう、図書館の整備を進めていますが、未設置の地域には、3台の移動図書館車「そよかぜ号」が2週間に1回巡回し、66か所で貸出しを行っています。

(3) 町田市立図書館協議会

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、審議等を行っています。

図書館別 A V (視聴覚) 資料数 2008年3月31日現在

区分 館名	A V 分類別資料数					
	C D	C T	L D	V T R	D V D	合計
中 央	28,771	2,611	4,613	8,333	1,037	45,365
さるびあ	—	—	—	7	—	7
鶴 川	—	—	—	8	—	8
金 森	—	2	—	9	—	11
木曽山崎	—	2	—	28	—	30
堺	—	4	—	12	—	16
文学館	—	—	—	—	—	0
合 計	28,771	2,619	4,613	8,397	1,037	45,437
前年度	28,086	2,643	4,616	9,926	1,018	46,289

※ C T・・・カセットテープ、L D・・・レーザーディスク

2007 年度 図書館別貸出状況

2008年3月31日現在

区 分 図書館名	個 人 貸 出 冊 数 ・ 点 数										団 体 貸 出 (地 域 文 庫 等)				計	ハ ン デ ィ キ ャ ッ プ 資 料	そ の 他 の 貸 出 (庁 内 貸 出 等)	ハ ン デ ィ キ ャ ッ プ 資 料 (個 人 貸 出)	貸 出 総 合 計
	図 書 資 料					A V 資 料					図 書 資 料								
	一 般 図 書	地 域 資 料	児 童 図 書	雑 誌	合 計	C D	C T	V T R	D V D	A V 計	一 般	児 童	雑 誌						
中 央	1,063,808	4,410	179,268	62,174	1,309,660	187,541	2,816	56,576	25,906	272,839	465	2,689	170	3,324	307	8,721	1,992	1,596,843	
さるびあ	248,160	436	115,700	30,591	394,887	3	0	7	0	10	298	6,910	53	7,261	0	0	0	402,158	
鶴 川	249,961	735	155,925	26,338	432,959	0	0	0	0	0	65	590	2	657	0	0	0	433,616	
金 森	493,610	843	325,881	60,535	880,869	0	0	0	0	0	592	2,767	107	3,466	0	0	0	884,335	
木曽山崎	221,470	553	134,991	24,241	381,255	0	0	0	0	0	90	675	31	796	0	0	3	382,054	
堺	103,584	171	69,590	10,835	184,180	0	0	1	0	1	501	871	0	1,372	0	0	0	185,553	
移動図書館 さるびあ	50,092	16	51,686	5,539	107,333	0	0	0	0	0	3	210	0	213	0	0	0	107,546	
移動図書館堺	17,656	一般に含む	30,162	3,069	50,887	0	0	0	0	0	1,388	1,044	232	2,664	0	0	0	53,551	
文 学 館	3,111	93	929	241	4,374	1	0	0	0	1	23	6	0	29	0	0	0	4,404	
合 計	2,451,452	7,257	1,064,132	223,563	3,746,404	187,545	2,816	56,584	25,906	272,851	3,425	15,762	595	19,782	307	8,721	1,995	4,050,060	
前年度	2,437,924	7,237	1,084,021	231,149	3,760,331	194,624	3,233	73,682	26,371	297,910	10,138	16,552	521	27,211	351	団 体 貸 出 に 含 む	2,211	4,043,335	

※貴重図書＝一般に含む。システム数値とはズレがあります。団体貸出はさるびあ計上分(地域文庫等178団体のみ)を計上。その他の貸出(市内貸出等)は中央館に一括計上。

町田市民文学館ことばらんどは、1997年、故遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006年10月に開館しました。この間、小説家八木義徳氏や桜田常久氏、作詞家宮川哲夫氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これら後世に伝えるべき町田の文化遺産を収集し、保存・公開を行うことが当館の大きな目的であり、市民が文学を通して出会い、交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

中心市街地に隣接する、かつては公民館として親しまれていた立地や、図書館との密接な連携も当館の特徴です。町田の文学資源を繋ぐネットワークの要として機能するとともに、展示や講演会を通じて文学の新たな魅力を伝え、「ことば」のもつ力との出会いをお手伝いします。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田4-16-17
- 電話 739・3420
- 構造 鉄筋コンクリート、地下2階、地上3階建て

(2) 施設内容

- 1階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室
- 2階 展示室、大会議室
- 3階 会議室（6室）、保育室

(3) 利用案内

- 開館時間 会議室・文学サロン 午前9時～午後10時 展示室・資料閲覧室 午前10時～午後5時（展示室入室は午後4時30分まで）
- 休館日 月曜日（祝日・振替休日のときは開館）、第2木曜日（祝日の場合は翌平日）、12月29日～翌年1月4日、特別整理日

(4) 各種機能

① 図書館機能

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、その他雑誌、文学全集、児童書などを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。また、辞・事典類や他の文学館の情報ファイル、俳句や短歌の新聞等も館内でご覧になれます。

さらに、町田市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。その他、文学資料に関する相談（レファレンスサービス）にも積極的に応じています。



町田市民文学館全景

② 資料の収集・保存・展示機能

- 収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。

- 調査研究

ゆかりの文学者の資料の調査研究及び情報の提供を行っています。また、2007年度から、市民が主体的に研究を行う「市民研究員制度」を実施し、「『小説教育者』を読む会」、「町田文学散歩ガイドマップをつくらう」の2つの研究会を立ち上げました。

- 展示会

展示会では町田ゆかりの文学者を取り上げる展示会を中心に子どもたちも楽しめる企画展、年数回の小企画展を行っています。



開館記念展、展示室写真

③ 学習機能

文学館では「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会等を開催しています。

○ 講座

乳幼児と保護者を対象に「ちちんぷいぷい」、小学生を対象に「ことばであそぼう!」、大人のためのおはなし会など「ことばを楽しむ」定期的な活動の他、連句講座や文学講座、児童文学講座など、市民の生活を豊かにするとともに生きる力となるような、文学の講座の実施を目指しています。また講座終了後のサークル作りの援助も行い、2006年度は2つのサークルが誕生しました。

○ 講演会

展示に関連したテーマでの講演会、町田ゆかりの文学者を紹介する「町田ゆかりの作家」シリーズ、作家の素顔や作品に迫る「作家とひと時」、その時々にあった文学をテーマに「文学万華鏡」など、文学者や作品の魅力に触れ、“文学はおもしろい”のメッセージを発信します。

④ 施設貸出機能

町田市施設案内予約システムに登録できる団体でその活動内容が文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等である場合、文学館を「ホームグラウンド」として登録することができます。

「ホームグラウンド」登録をした団体は、抽

選申し込み（施設使用の2ヶ月前）に参加できます。

施設使用料

区 分	定員 (人)	午前 (円)	午後 (円)	夜間 (円)	全日 (円)
大会議室	54 (机あり) 108 (机なし)	1,900	2,200	2,500	6,000
第1会議室	12	300	400	500	1,100
第2会議室	12	300	400	500	1,100
第3会議室	6	200	200	200	500
第4会議室	12	300	400	500	1,100
第5会議室	12	300	400	500	1,100
第6会議室	30	900	1,100	1,200	3,000
保 育 室	12	500	600	700	1,700

※第1・2、第4・5は合わせて24人で利用できます。

※施設貸出時間は午前9時～午後12時30分まで、午後1時～5時まで、夜間午後5時30分～10時まで、全日午前9時～午後10時までとなります。



町田市には古代の遺跡をはじめ、先人の遺した多くの文化遺産があります。しかし、近年の宅地開発や土地区画整理により、遺跡や古い建造物などの歴史資料が失われ、また、生活様式の変化により、古くからの生活用具や伝承などの民俗資料も失われつつあります。これらの文化財は、先人の生活ぶりを正しく知るための手掛かりとなるものです。町田市では1960年、町田市文化財保護条例を制定し、失われつつある文化財の保護に努めるとともに、郷土の歴史・文化を未来へ継承するために、資料の収集、保存、展示、調査研究等を行っています。

(1) 自由民権資料館

明治10年代、全国各地で自由と権利を求めた運動が盛り上がり、薩長を中心とした明治藩閥政治に対して国会開設、憲法制定、地租軽減、自治の要求などを目指した自由民権運動が展開されました。三多摩を含む神奈川県でも活発な動きがあり、なかでも町田は石阪昌孝や村野常右衛門、青木正太郎、細野喜代四郎など有力な指導者を輩出しました。結社と呼ばれる組織がつくられ、政治学習運動が推し進められました。この運動のなかで、野津田町の村野常右衛門が私財を割き、1883年（明治16年）2月に建てたのが「凌霜館（りょうそうかん）」という文武の道場でした。

1984年11月にこの凌霜館跡地が子孫の方から

市に寄付されたのを受け、市ではこのゆかりの地に自由民権運動を中心とした資料館を建てるとともに、隣接土地を所有する方の協力を得て、丘陵に続く貴重な緑を守っていくことになりました。1986年11月3日に開館し、1996年11月には



自由民権資料館

増改築し、リニューアルオープンしました。常設展示「多摩の民権／町田の民権」を行うとともに、意欲的に企画展示にも取り組んでいます。

① 施設概要

- 所在地 町田市野津田町897
- 電話 734・4508
- 構造 鉄筋コンクリート造、地下1階
地上2階建て
- 延床面積 911.15m²

② 施設内容

- 展示施設 167.30m²
- 収蔵施設 180.00m²
- 閲覧室等 116.65m²

③ 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 月曜日（祝日、振替休日にあたる時は、その翌日）、12月28日～翌年1月4日

④ 資料の収集等

町田を中心としながら三多摩や神奈川県など明治10年代当時の活動範囲まで幅を広げて自由民権運動関係資料の収集に努めています。運動にかかわる直接の資料をはじめ、書簡、書籍、写真類、当時の新聞・雑誌、あるいは民権家の使ったゆかりの物などを収集、整理、保管し、常設展やテーマを決めた企画展などを行います。



中島信行の書「自由所棲是吾郷」（村野順三家）

また、民権運動を対象とした論文や関連の文献なども、全国的な視点で幅広く集めています。そして、これらの資料や文献を充実させ、各地域の様々な情報を提供できる「文

献センター」的な役割を果たすことを目指しています。さらに、資料館の前身の市史編さん室が収集した町田の歴史にかかわる資料、周辺地域の各自治体史や歴史書、市民活動の中から生み出された会誌・会報や記録類、ミニコミ・ローカル紙、自費出版物などの市民資料も同時に収集し、閲覧できる体制を整えています。



自由民権資料館閲覧室

(2) 考古資料室

町田市等の開発事業に伴う遺跡の発掘調査が行われた場合の出土遺物の整理や、写真・図面などの記録の整理作業などを行う施設として、1991年3月に竣工しました。



考古資料室

① 施設概要

- 所在 町田市下小山田町4016
- 電話 797・9661
- 構造 鉄筋コンクリート造、2階建て
- 延床面積 482.18m²

② 施設内容

- 収蔵庫 219.8㎡
- 実習室 76.5㎡
- 撮影室 13.34㎡
- 展示室 35.0㎡

③ 利用案内

- 開館日
7、8月 土・日曜日・祝休日
7、8月以外 第2・4土・日曜日、祝休日（12月28日～翌年1月4日は休館）
- 利用時間 午前10時～午後4時

(3) 文化財の保護

文化財とは、人間と自然が遺した文化的な遺産であり、歴史上、学術上、芸術上など、様々な観点から優れた価値をもつ「有形の財」「無形の技・芸」です。

① 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、文化財の選定や文化財保護に関する教育委員会の諮問に応じて、調査、審議し、建議するもので、文化財保護条例により設置されています。文化財に関し広くかつ高い識見のある方10名以内で構成されることになっています。

② 指定文化財

町田市内には、多くの重要な文化財が残っています。それらのいくつかは、次ページの表のとおり、国や都、そして市の指定文化財になっています。



東京都指定有形文化財 旧萩野家住宅

③ 埋蔵文化財の調査等

町田市域は遺跡の宝庫です。これまでに約1,000か所の遺跡が確認されています。これらの遺跡は、開発によって常に破壊の危機にさらされています。開発に際しては、包蔵地についてはできる限り緑地として保存するように指導を行っていますが、これが不可能な場合は事前に調査、記録保存を行っています。



なすな原遺跡出土注口土器（縄文後期）

町田市 の 指定文化財

区 分	名 称	所 在 地	指定年月日
国・重要文化財	旧永井家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S53. 1.21
都・有形文化財	妙福寺祖師堂	三輪町 811	S36. 1.31
	無極和尚坐像	下小山田町 332 大泉寺	S36. 1.31
	観世音菩薩立像	小山町 2524 福生寺	S36. 1.31
	旧荻野家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	S49. 8. 1
	異形台付土器(2点)	本町田 3562 市立博物館内	S50. 2. 6
	旧多摩郡小野路村名主小島家文書	小野路町 950 小島資料館	H 5. 3.22
	小野路組合農兵隊関係資料	小野路町 950 小島資料館	H12. 3. 6
市・有形文化財	十六羅漢図	小山町 3629 宝泉寺	S39.11.25
	長福寺山門・文珠堂・本堂格天井花丸絵画	相原町 2109 長福寺	S48. 3. 8
	清水寺観音堂・鐘楼・水屋	相原町 701 清水寺	S48. 3. 8
	青木家住宅	相原町 810	S52. 2.23
	神蔵家住宅	金井町 8-26-2	S52. 2.24
	妙福寺本堂・鐘楼門・高麗門(総門)	三輪町 811 妙福寺	S59. 2.24
	天神社本殿	南大谷 451 天神社	S59. 2.24
	阿弥陀三尊像	原町田 3-5-12 勝楽寺	S60. 4.17
	阿弥陀三尊像	本町田 3654 養運寺	S60. 4.17
	阿弥陀如来坐像・地藏菩薩立像	相原町 3729 円林寺	S60. 4.17
	釈迦如来坐像	小山町 3629 宝泉寺	S60. 4.17
	菩薩立像脇侍像	小山町 2524 福生寺	S62.11.13
	誕生釈迦仏立像	成瀬 4464 東雲寺	S62.11.13
	聖徳太子立像	鶴間 1210 円成寺	S62.11.13
	薬師如来坐像	野津田町 3224 薬師堂	S62.12.11
	箭幹八幡宮隨身門	矢部町 2666 箭幹八幡宮	H 2. 2.14
	熊野神社本殿	三輪町 1925-1 熊野神社	H 2. 2.14
	村野常右衛門生家	小野路町 1256-1 他 野津田公園内	H 6. 7.11
	能ヶ谷出土銭遺跡出土品一式	下小山田町 4016 考古資料館	H 9. 3.25
市・無形民俗文化財	金井獅子舞	金井町八幡神社	S38.10.22
	丸山獅子舞	相原町諏訪神社	S38.10.22
	矢部八幡宮獅子舞	矢部町箭幹八幡宮	S38.10.22
	大戸囃子	相原町大戸八雲神社	S38.10.22
	三ツ目囃子	小山町三ツ目日枝神社	S38.10.22
国・史跡	高ヶ坂石器時代遺跡(牢場、稲荷山、八幡平)	高ヶ坂 1418, 1429 他	T15. 2.24
都・史跡	田端環状積石遺構	小山町 3112-2, 3113-2	S46. 3.29
	青木家屋敷	相原町 810 他	S55. 2.21
	小山田 1 号遺跡	小山田桜台 2-16-6	S60. 3.18
	本町田遺跡	本町田 3455	H 4. 3.30
	西谷戸横穴墓群	三輪緑山 1-25-7	H 4. 3.30
	下三輪玉田谷戸横穴墓群	三輪町 897	H20. 3.26
市・史跡	(通称)代官屋敷	金井町 8-26-2	S39.11.25
	木曾一里塚	木曾西 4-14	S44. 9. 2
	白坂横穴墓群	三輪町 1720-7 他	S50.10.27
	(通称)鎌倉井戸	山崎町 1050-1	S54. 9. 7
	白洲次郎・正子旧宅	能ヶ谷町 1283, 1284	H14.11.14
都・旧跡	相原かま跡	相原町陽田谷戸	T15. 4
	井出の沢古戦場	本町田菅原神社付近一帯	T15. 4
都・名勝	福王寺旧園地(薬師池公園)	野津田町 3270	H10. 3.13
市・天然記念物	アカガシ群落	相原町 701 清水寺内	S39.11.25
	シダレザクラ	小山町 2057-1 小山市民センター内	S39.11.25
	シイ	小野路町 5451 田極氏方	S39.11.25

(1) 学校施設「特別教室」の開放

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、開放区画のある次の学校の「特別教室」の開放を、学校教育に支障のない範囲で行っています。

① 利用の範囲

- 本町田小学校
多目的室・ランチルーム
- 木曽境川小学校
多目的室・理科室・図工室・音楽教室・家庭科室・ランチルーム
- 小山ヶ丘小学校
会議室・理科室・図工室・音楽室・第3音楽室・家庭科室
- 鶴川中学校
小ホール（階段教室）・ミーティングルーム・技術室及び家庭科室（夏季期間のみ可）

② 利用案内

- 利用時間
 - ・平日の夜間
午後6時30分～午後9時
 - ・土日祝日
午前9時～午後9時
- ※午前・午後・夜間の3区分での利用となり、継続利用は原則できません。
- ・夏季期間（夏休み）の平日
小学校・中学校 午後1時～午後5時
鶴川中学校（技術室・家庭科室） 午後6時30分～午後9時
- 休室日 毎週水曜日、年末年始、学校行事または、町田市教育委員会が指定する日

③ 利用の方法

利用する場合は、事前に団体登録が必要です。利用できる団体は、代表者が市内在住の20歳以上の方で、5人以上で構成される団体（半数以上が市内在住又は在勤、在学者であること。）です。団体登録は、団体構成員名簿を用意した上で、生涯学習課で登録していただきます。

学校施設のため、活動内容によっては、利用できない場合もあります。

利用申請は、利用する各開放校の管理人へ、決められた時間内での申込みとなります。

- ・翌月分の申込みは、毎月第一土曜日の午後1時に受付
- ・空き状況での申込み（利用日の7日前まで）は平日午後6時30分～午後7時30分、土・日曜日、祝休日は午後1時～午後2時の受付
- ※受付時に、重複がある場合は、抽選となります。



木曽境川小学校の多目的室

(2) 学校施設「スポーツ施設」の開放

市民の健康推進、親と子のふれあい、地域コミュニティづくりの促進を目的として、校庭・体育館・プールの開放を学校教育に支障のない範囲で、町田市教育委員会が指定する日時に各学校において行っています。

① 利用の範囲

- 校庭
- 体育館
- プール（夏季期間10日程度）
- 木曽中学校校庭夜間照明設備
- 学校設置の「温水プール」（3校）

② 管理運営の方法

- 各校の学校開放運営委員会
校庭・体育館・プールの開放については、学校ごとに学校開放運営委員会を設立する必要があります。

したがって、町田市の小・中学校60校が全て開放できているものではありません。

○ 委託管理によるもの

木曽中学校校庭夜間照明設備及び温水プールの開放については、委託による管理となっています。

③ 利用の方法

○ 事前に団体登録が必要なもの

- ・校庭、体育館の利用
- ・木曽中学校校庭照明の利用

登録は、構成員10人以上の団体であることなどが条件となっています。

○ 利用当日に手続きするもの

- ・温水プールの利用
- ・開放プールの利用（夏季期間）

④ 木曽中学校校庭夜間照明設備

○ 利用時間

4月～9月 午後6時30分～午後9時
10月～3月 午後5時30分～午後9時

○ 使用料 30分／600円

（高校生以下は、300円）

⑤ 温水プール（町田第一中学校・南中学校・鶴川中学校）

○ 各プールの大きさ

共通（25m 6コース）

水深（町一中・南中…1.2～1.5m）

（鶴中…1.15～1.35m）

○ 駐車場、駐輪場

町田第一中学校は駐輪場のみです。南中学校、鶴川中学校には駐車場、駐輪場が設置されています。

○ 利用案内

- ・対象 市内在住、在勤、在学の小学生以上の方（小学生は、遊泳保護者同伴のこと。）
- ・休館日 毎週水曜日（休日にあたるときは、その翌日）、年末年始、その他、管理者の指定する日
- ・使用料 大人1回300円（65歳以上の方及び障がいのある方は、100円）
小・中学生無料（ただし、夏休み期間

7月21日から8月31日までは有料1回100円）

温水プール利用時間

区 分	平 日	土日祝日
6月～9月	午後6時30分～9時	午前10時 ～ 午後9時
8月(夏休み)	午後1時～9時	
10月～5月	午後5時30分～9時	

(3) 廃校施設の開放

① 教室開放（8教室）

廃校となった旧忠生第五小学校の有効利用を図り、「跡地教室」として8教室を開放しております。1階に80㎡の部屋、2階には、60㎡の会議室2室、和室1室があり、1階、2階の4部屋では空調設備が完備されています。

※3階、4階にある4部屋には、空調設備がありません。

② スポーツ開放（校庭・体育館）

廃校となった旧本町田西小学校・旧緑ヶ丘小学校・旧忠生第五小学校・旧忠生第六小学校の校庭、体育館を従前からのスポーツ開放に引継ぎ、「跡地スポーツ利用」として開放しています。

利用のためには、事前にスポーツ振興課へ跡地利用の団体登録が必要です。

利用の日程管理等は、各施設の学校跡地スポーツ利用運営委員会が行っていますので利用申込は、それぞれの決められた管理者への申込みとなっています。